



# 純潔の娼女

恋人の目の前でNTR快樂地獄



純潔の娼女

どうしよう

今から  
緊張してきた…

私は娼館宿に  
売られた娘  
リーザ

今夜  
初めての客をとる

ねーえ？

お花を  
頂けるかしら？  
綺麗なやつ

その  
花売りのお嬢さん

そして  
そんな父に

「酒代の代わりに」と  
売り飛ばされたのが  
数日前の出来事

あ！はい  
ありがとうございます  
ございます

いくつも仕事を  
掛け持ちしながら  
父と2人で暮らしている

ヒック

ヒック

ノッ



夜は  
ちゃんと食べてね  
作ってあるから

ヒック

いいよ！  
ほっときな  
こんなロクデナシ！  
心配することないよ！

全く働きもせず  
酒ばっかり！

ペローナおばさん…！

お父さん  
ほら  
しっかりして



リーザも  
リーザだよ！

あんたはいい子  
すぎるんだよ！

毎日働き通し  
でそれっきり！  
あんたの幸せは  
どこにあるんだい！



…ボロボロ  
じゃないか

…こんな  
あかぎれた手で

娼婦だなんて…



…手

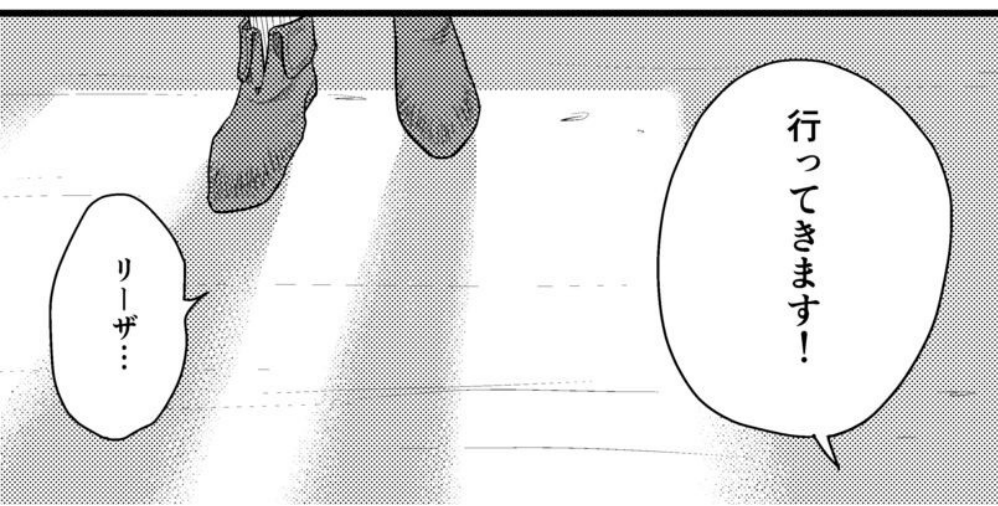
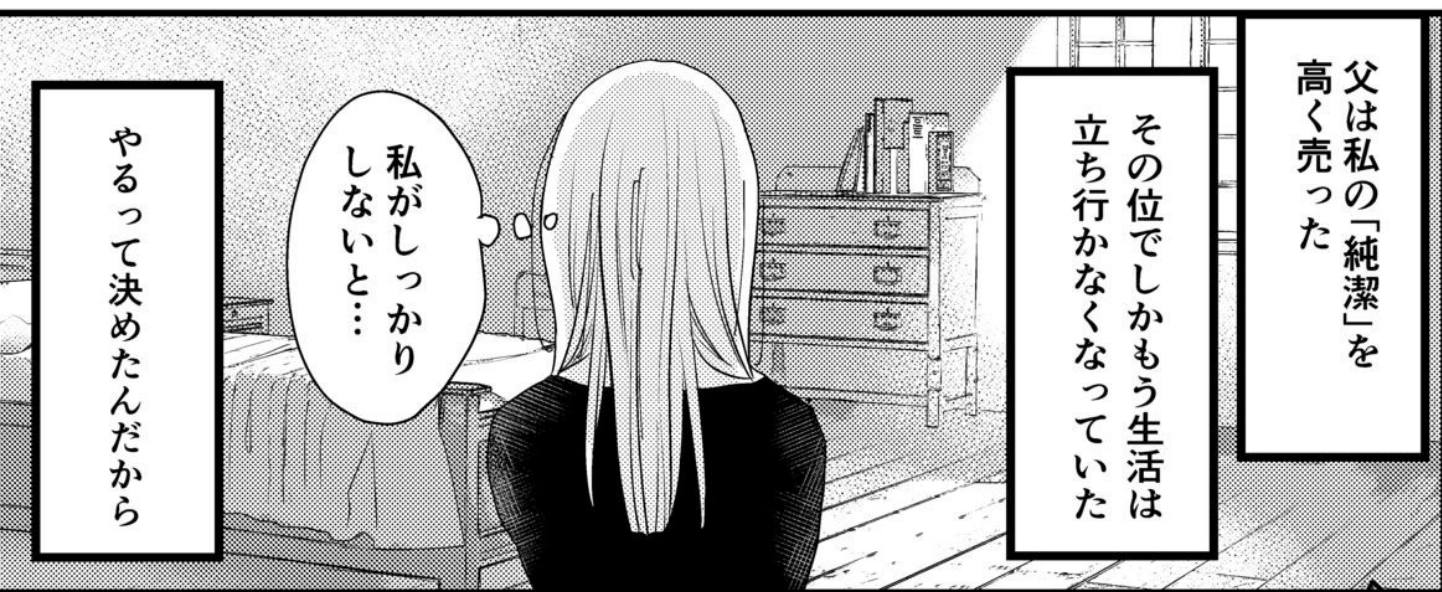
見せてみな

え？



この街は階級社会

泣いてるだけじゃ  
生きていけない



いいかい？  
リーザ

今晚お前を買って  
くれたのは  
あの貴族の  
ロシエル様だよ

えっ

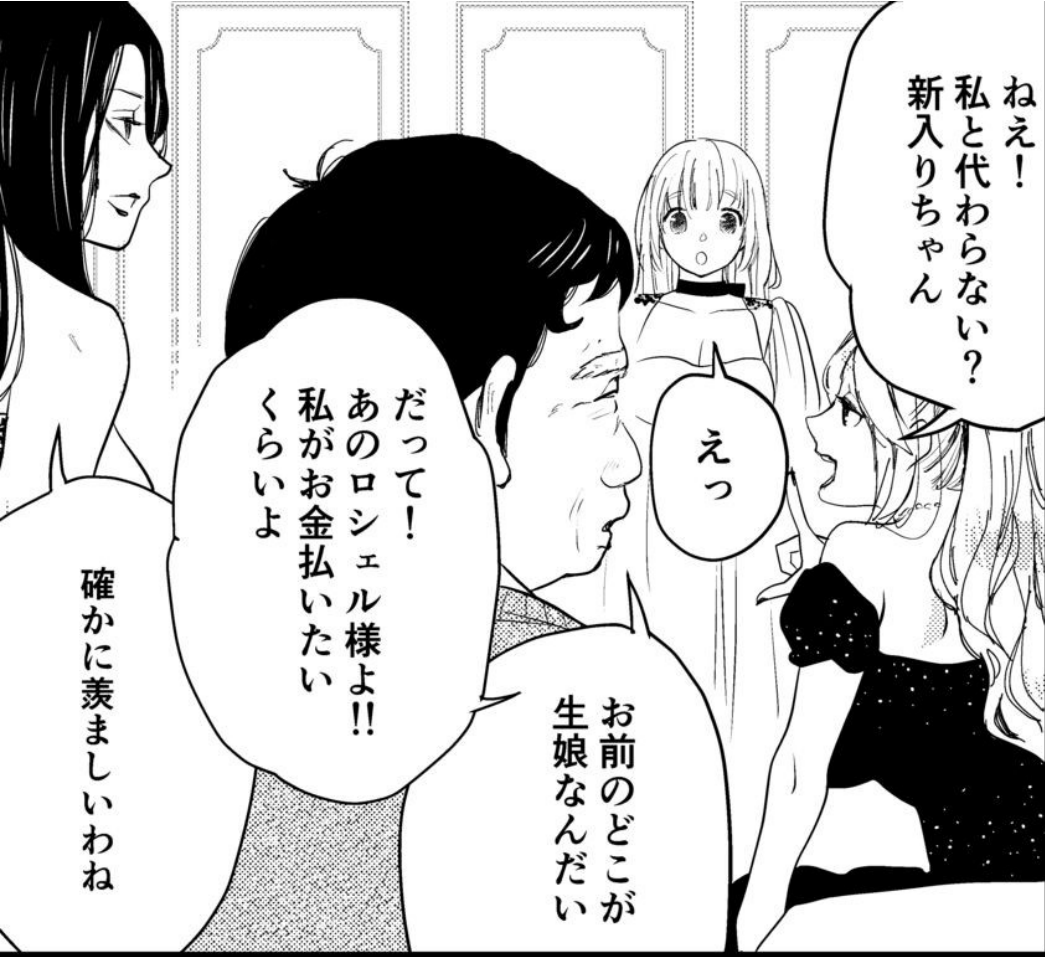
チッ  
ワッ

え——っ!!  
ロシエル様!!  
あの王室お抱え  
魔法士の!!

そうだよ  
ロシエル様は以前から  
生娘だけを  
所望されていてね

ずっとお待ち頂いて  
いたんだよ

嘘でしょ!?!  
ロシエル様が  
ここに……!!



ねえ！  
私と代わらない？  
新入りちゃん

生娘…

ドキ  
キ

えっ

だって！  
あのロシエル様よ！！  
私がお金払いたい  
くらいよ

お前のどこが  
生娘なんだい

確かに羨ましいわね



とにかくね



は…は…！



新入りのお前には  
もったいない程の上客だよ

くれぐれも粗相の  
ないようにね  
絶対に機嫌を損ねるん  
じゃないよ

ロシエル様…

この街で知らない人はいない  
魔導の血を引く高貴なお方

私なんかとは大違い

生娘じゃない…

トクン…

でも聞いた事がある

そのお方は昼間はとても柔和で  
完璧な紳士だが  
その実 夜は女性を食う獣のようだと

あの噂本当なの…？

でも  
どうしよう…

そんな事より  
私…





これはリーザ  
こんばんは

こうして会うのは  
初めてだね

知っているよ  
君の事は



はい  
少し…

大丈夫？  
もしかして  
緊張している？



あの…ロシエル様  
初めまして

わ…  
本物だ…

わたくし…  
リーザと申します…

あ…あの…  
まずは何か温かい  
お飲みものなど  
いかがでしょうか？

ありがとうございます

まだ夜は冷えるからね  
アールグレイをお願い  
しようかな

どうしよう  
正直に話さないと…

ドキ

ドキ

バレたら大変な事になる…

それとも

アハハ

隠し通せる  
ものなの…？

ニムニ

でもそんな事…

カ

カキ

カキ

あっ…！ ごっ…  
ごめんなさい…っ！

おっ

そう怯えなくていいよ

痛いこともしないし  
君を傷つけるような事も  
しないよ

約束する

可哀想にリーザ

…大丈夫  
心配しないで

安心して

ロシエル様…

初めての相手が  
僕で良かったと  
思えるように優しくする

悪いようには  
しないから



やっぱりロシエル様って  
優しい方なんだ

ん?



良かった…

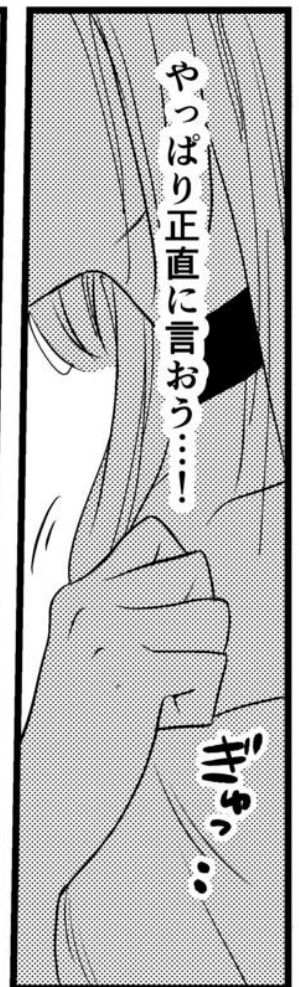
ぽっ



実は私…っ

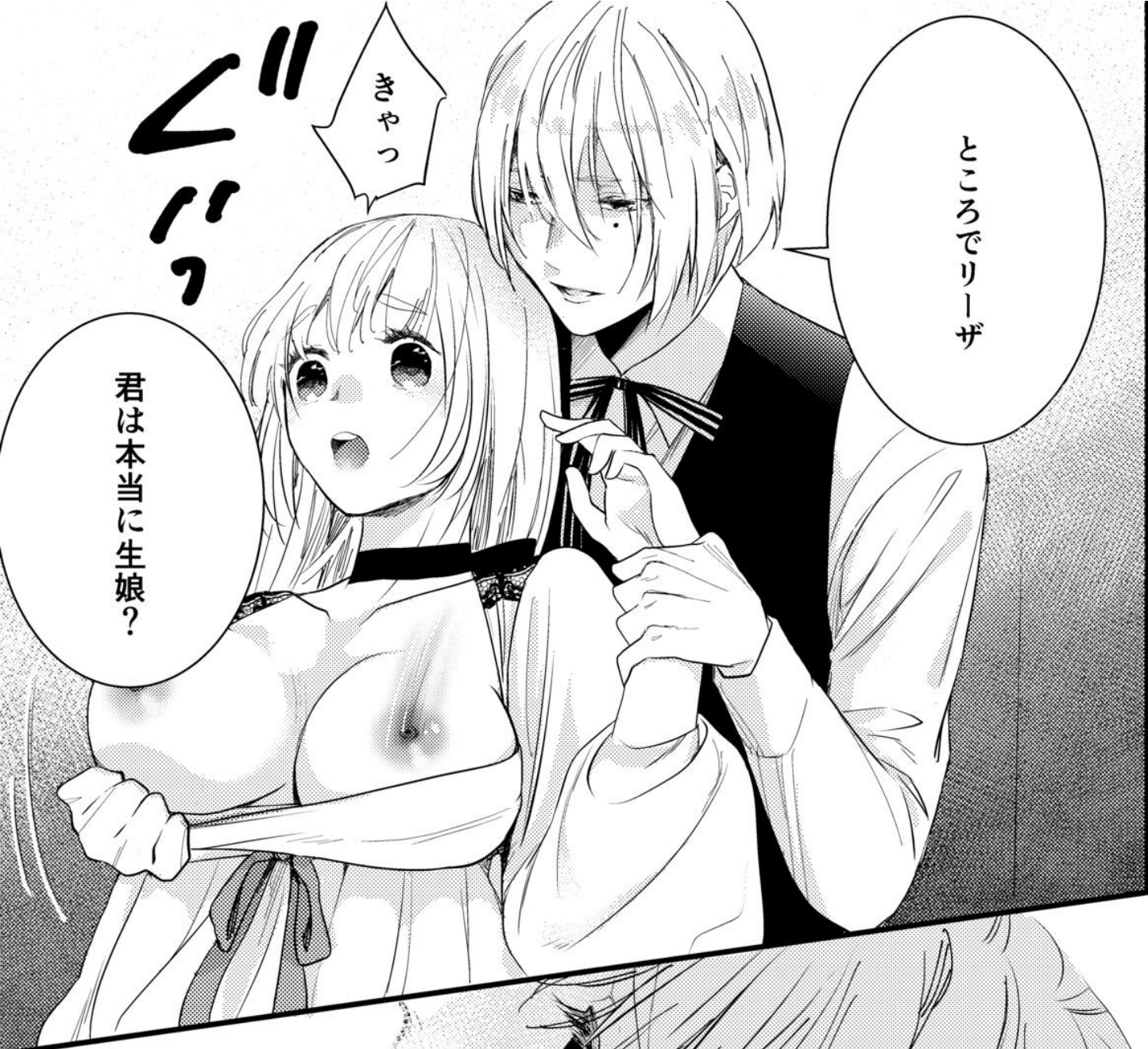
あっ あの…  
ロシエル様…!!

きやっ



やっぱり正直に言おう…!!

きやっ



きゃっ

ところでリーザ

君は本当に生娘？



あっ

怖い……！

さっきまでとは  
まるで別人……！



あ……



……

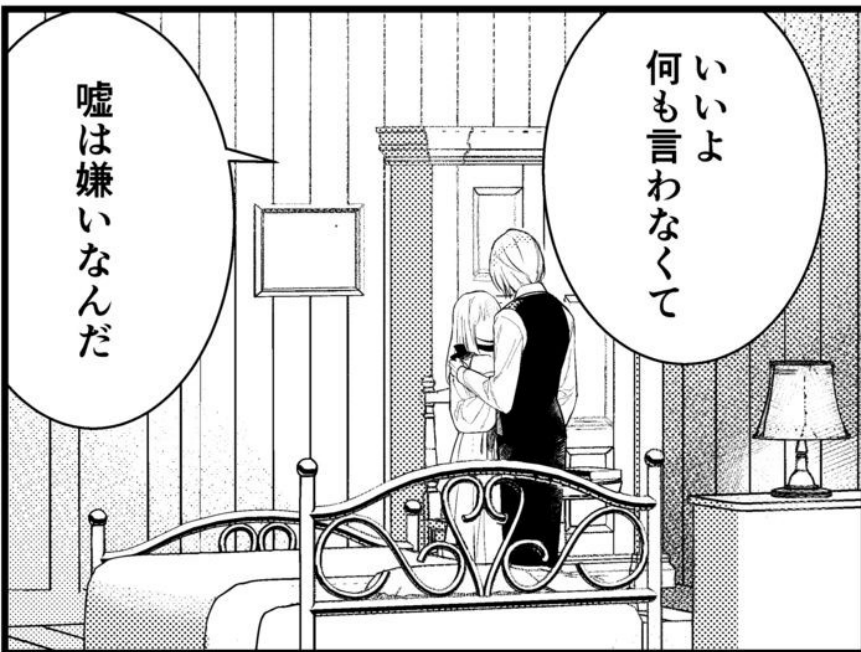


どうしてそれを…



知っているよ僕は

君に心を通わせた  
相手がいる事



嘘は嫌いなんだ

いいよ  
何も言わなくて



あの男とは何も  
なかったの？

そっ それは  
あの…っ！



その代わり少し  
確認させてもらおうかな





…無粋だなあ、君  
見てわからないの？

取り込み中だ



金も用意してきました

何とか集められるだけの  
銀貨を持ってきたので  
これと引き換えにリーザを  
見逃してやって下さい…！



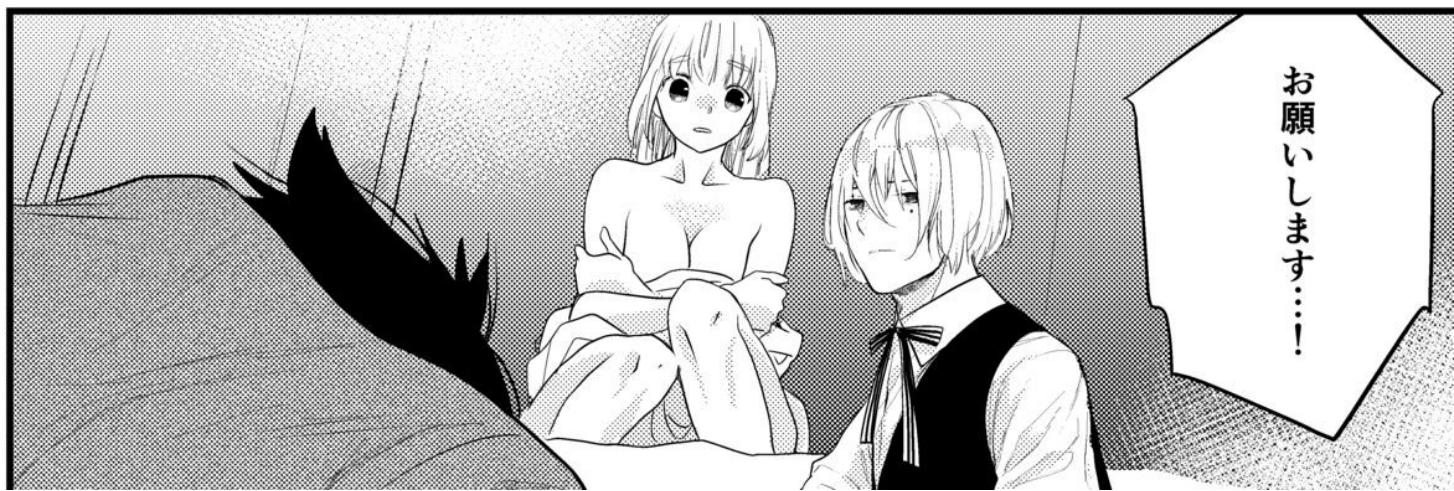
貴族様！  
お願いです！

リーザは…  
リーザだけは  
見逃してやって下さい…！



…っ！

ゴクッ



お願いします…！



この身体のどこが  
生娘だと？

わっ！  
なんだこれっ

何でこんな所に  
キスマークが…

きゃあっ！

あ…

か  
あ  
あ





違います！  
僕です…！

僕が嫌がる彼女を  
無理矢理…っ

…も  
…申し訳ありません…

私が悪いんです…！  
全て…っ  
私が…っ！



違います！  
私が誘ったん  
です！

お前が  
やったのか？！

ドン



私が…！  
昨日の夜…！

エドは何も  
悪くありません！

クソっ！  
君が娼館に  
売られるなんて…！

なんて事だ…！

もう時間が  
ないのエド…

明日の夜には  
もう私はお客を  
取ることになるわ

今まで私はこの純潔を  
固く守ってきたけれど…

見ず知らずの誰かに  
穢されるくらいなら…

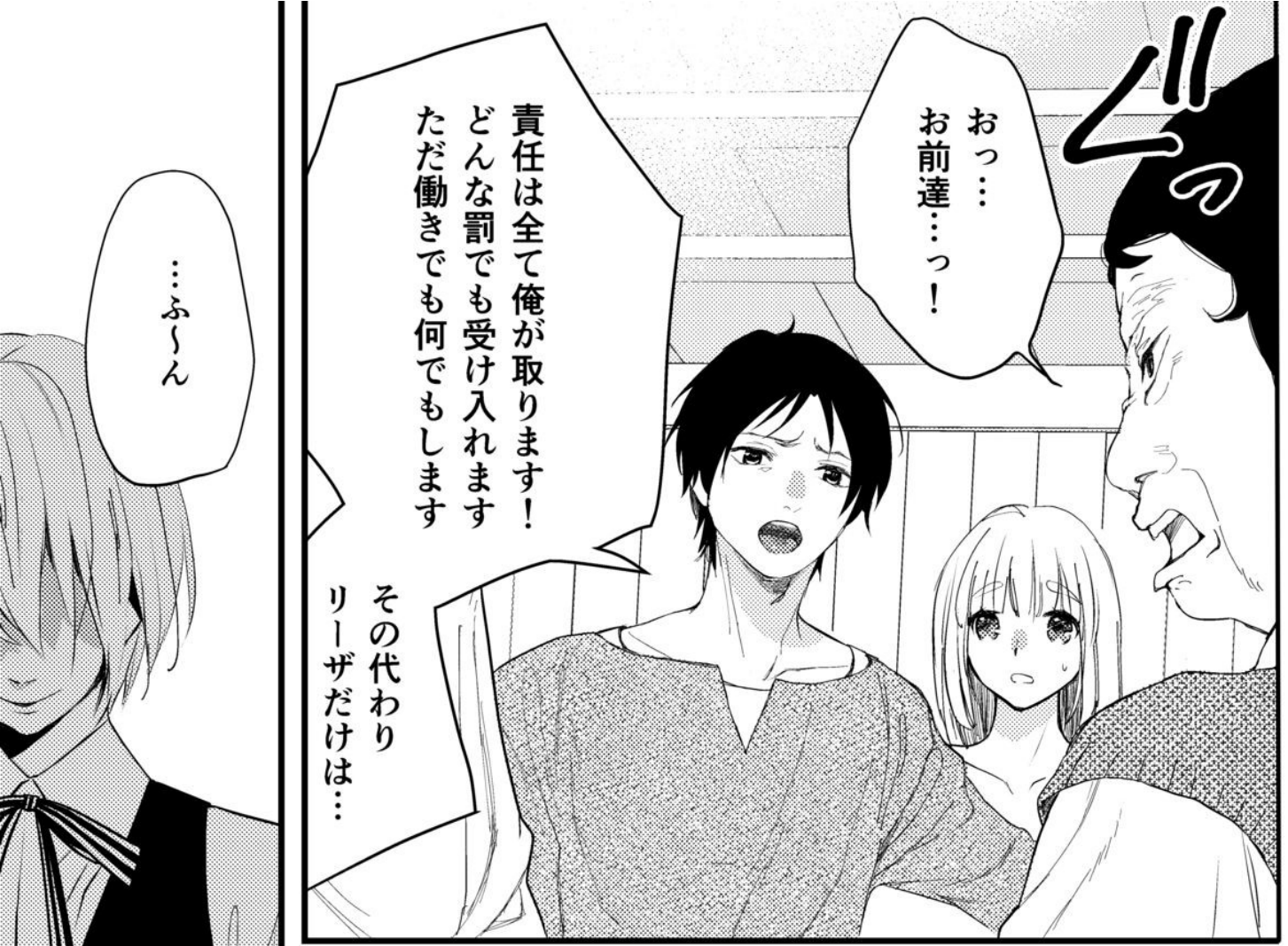
私…！

リーザ…！

私の責任です

生娘である事が  
条件だって  
分かってたのに

許して  
もらえるなら  
どんな罰も  
受ける覚悟です



おっ…  
お前達…っ！

責任は全て俺が取ります！  
どんな罰でも受け入れます  
ただ働きでも何でもします

その代わり  
リーザだけは…

…ふん



リーザだけはどうか  
見逃してやって下さい…！


お願いします！

じゃあ  
こういう事かな



しん…

…




僕は愛し合う2人を  
引き裂く悪者―！



そんな事は！



実に不愉快だ




…リーザは  
生娘のフリをして  
僕に抱かれる  
つもりだった？



…君は

わざわざあんな所に  
キスマークを付けて  
僕を挑発した…

正直  
大変気分が悪い



とんだ  
茶番だな



それと同時に

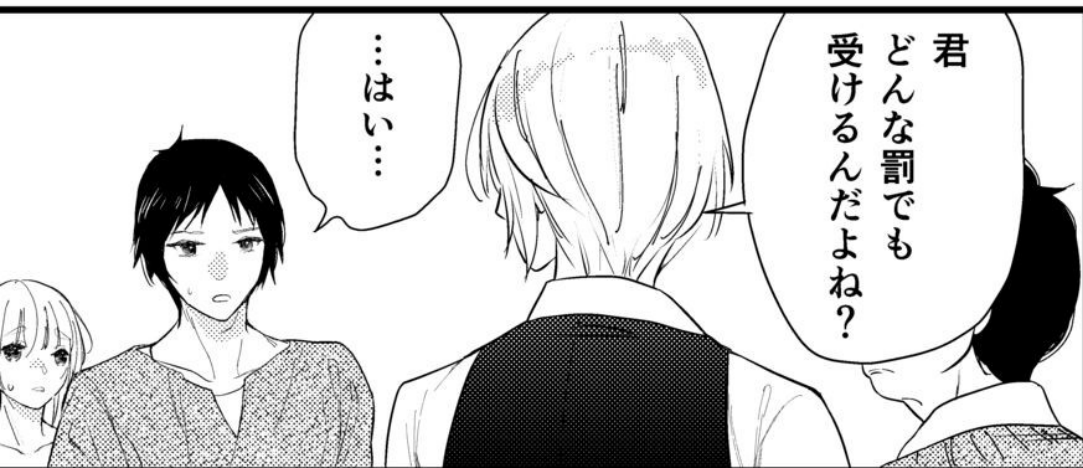
今からこの2人に  
どんな罰を与えて  
あげようかと考えると

楽しくも  
なってきたよ

が



えっ



君  
どんな罰でも  
受けるんだよね？

…はい…

ご主人この件  
僕の好きにしても？

もっ…

もちろんです…！

当然ロシエル様の  
お気の済むように…！

ありがとうございます

話の早い人は  
好きだよ

あっ！

そういう事なら  
ジャマ者は消えた方が  
いいですよね！

それでは  
ごゆっくり  
どうぞ！

えっ！  
ちよっと…！

とんざら！

…さあ  
リーザ

分かって  
るよね？

あ…



『lock』



なっ



エド！

ドカッ

何を…っ



くっ！  
腕が固定される…っ

何をしたんですかっ

別に  
大した魔法じゃないよ



それよりも  
君のおかげで名案が  
浮かんだよ



今から君は  
そこで一部始終を  
見るんだ

いいかい？



あれ？  
私どうなってるの？

ひんがし

なんだっけ？

ひんがし

ひんがし

ちゃんと考えなきゃ  
いけなかったはずなのに…

あれ？

え？

どうしちゃったん  
だろう？わたし

ひんがし

ひんがし

ひんがし

思い出せない…

ひんがし

わかんないけど…

なんだかすごくエッチな気分…

ほら、彼に  
ちゃんと見せてあげて

エドくん

エド…?

くっ!  
見たくないのに  
目が離せない…!

そうだ!  
エド…っ!

あれ?

リーザ…!

リーザに何を…!

そんな事よりも私…

見ないで…?

いやっ  
見ないで…

あそこが疼いて  
たまらない…

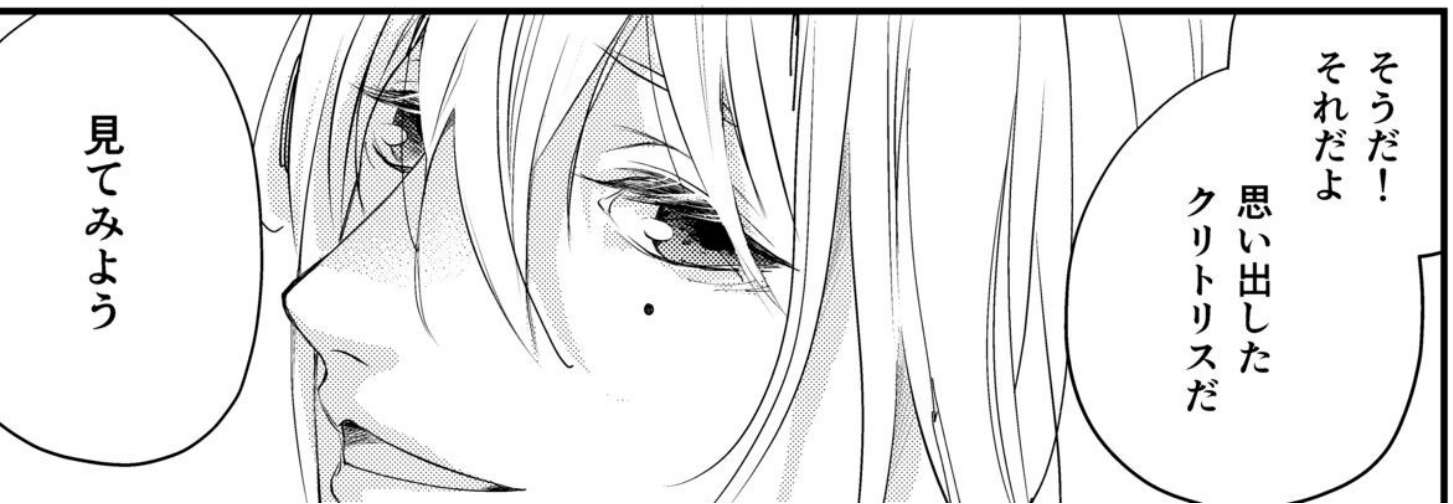
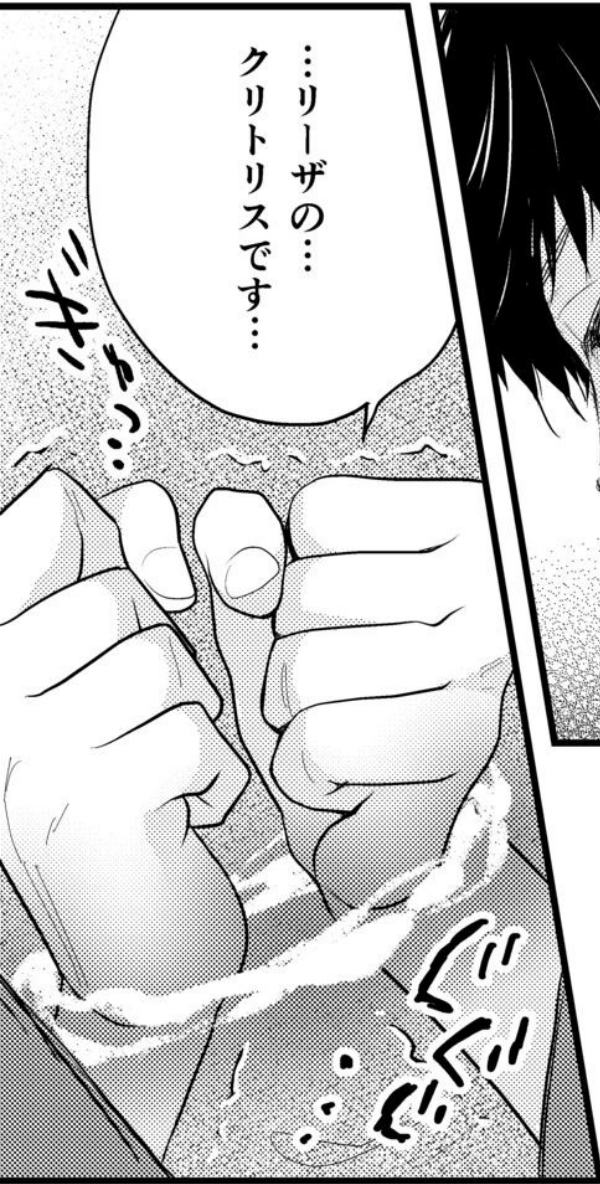
あれ?

どうしたの?  
もうこんな所に  
染みを作って

もしかして  
もう濡れてるの?

ん?  
これは…







リーザは本当は  
淫乱なのかな？

どう思う？

……っ

っ

だめっ……！  
もう我慢出来ないっ……！

あ  
感じすぎてクリトリスが  
痛い……っ！

はあ

…あれ？  
もしかして  
勃っちゃってる？

クス

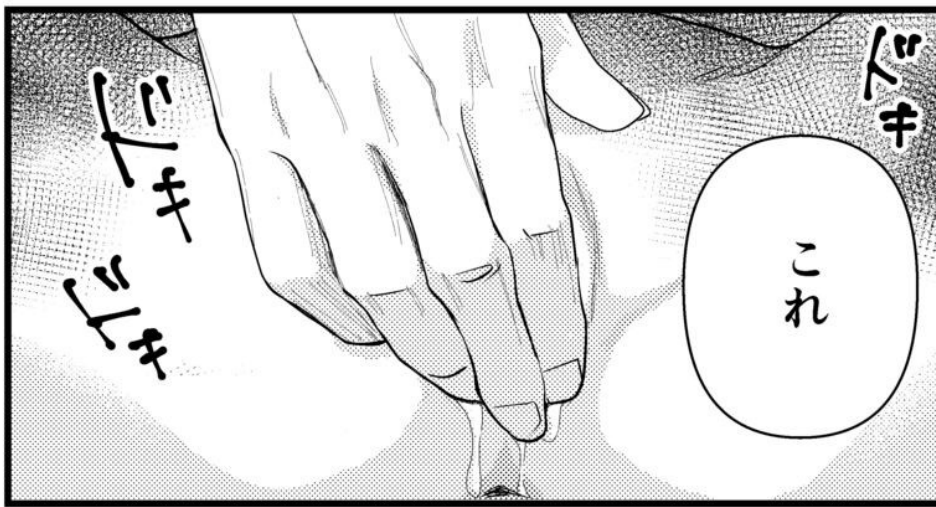
まさか2人して  
こんな状況に  
興奮しているの？

早くっ……！

何とか  
してええ

いいね

楽しいなあ



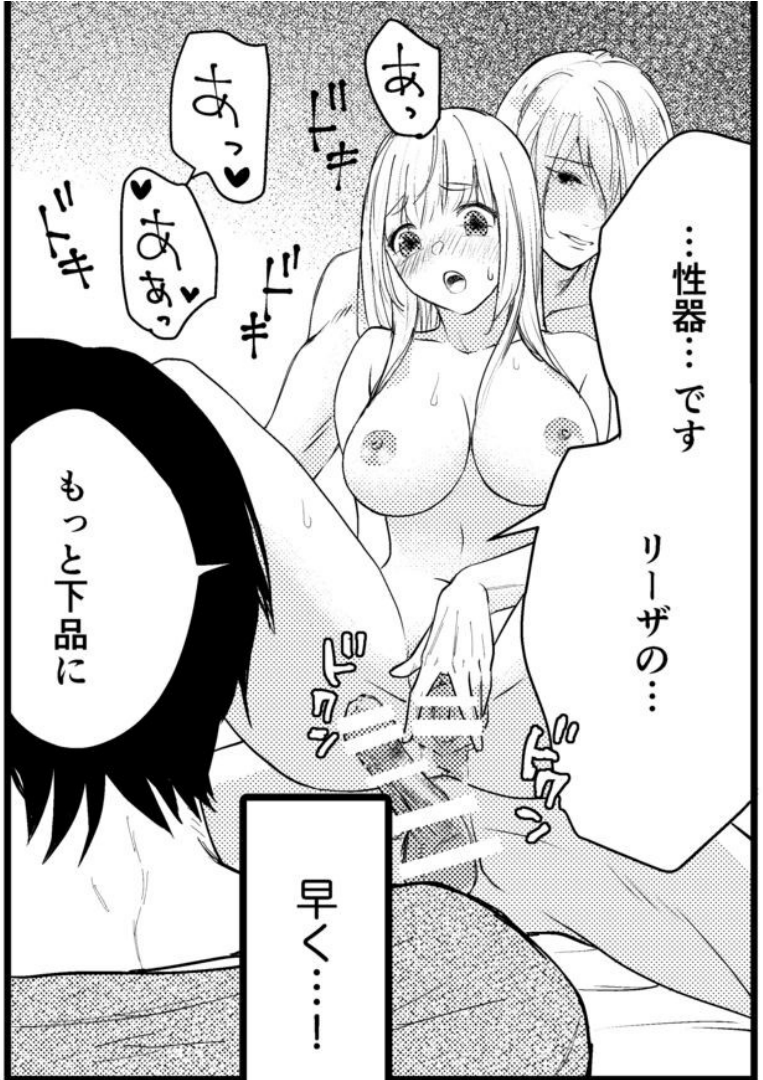


……っ

早く挿れて……!



分かるよね?



もっと下品に

早く……!

…性器…です  
リーザの…



ほらほら  
早くしないと  
ほじっちゃうよ?



まんこ  
です……!



……!

リーザの……!







ははは  
妻いねリーザ

彼に見られながら  
派手にイッたね

彼がかわいそう  
じゃないの？

あっ

んっ

びゅんっ

んっ

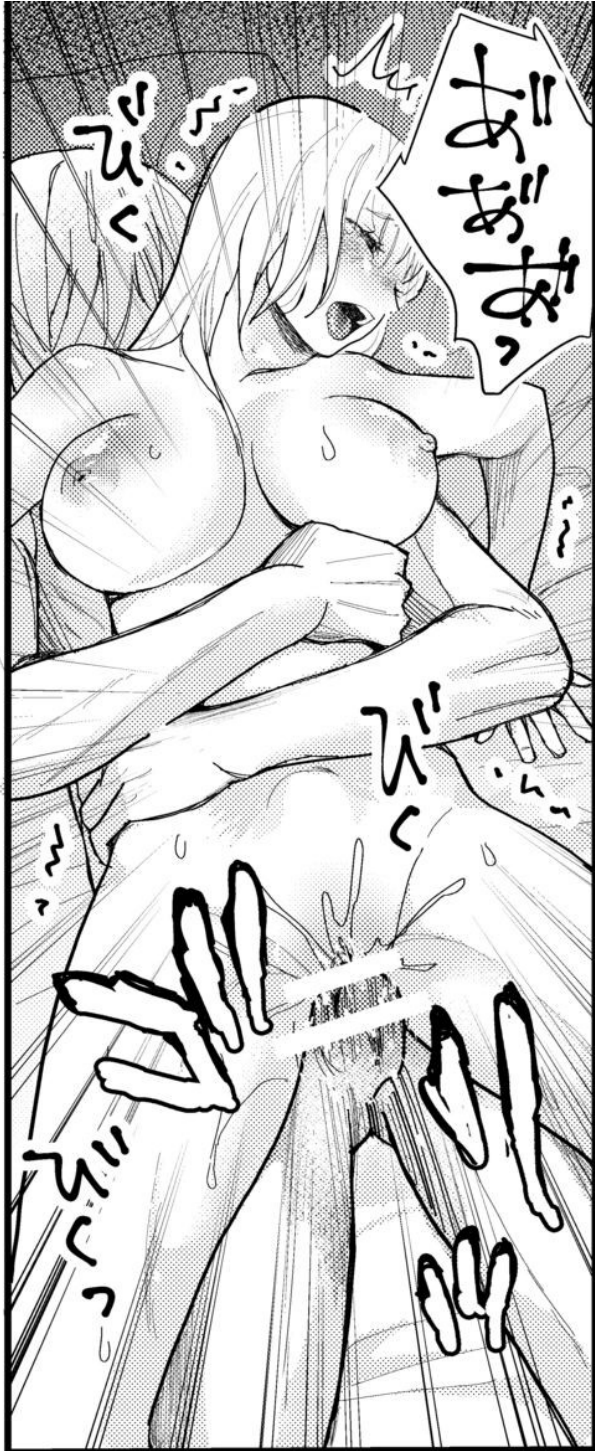
びゅんっ

びゅんっ

んっ

びゅんっ





僕は君から花を買った事がある





ありがとうございます  
ございます!

あっ

その白い花を  
もらえる?



プレゼント  
ですか?



見るからに貧しい娘

邪険にされる少女が  
憐れで戯れに声を  
かけたんだ



街の往来でたまたま  
目に着いた花売り

すみませんっ

花なんかいららないよ  
どいて



いや



白の  
スイートピー

花言葉は  
「ほのかな喜び」  
です



そうですか

じゃあこのお花は  
ぴったりかも  
しれません

うん?

(嘘だけど)

今日は少し疲れていてね  
なんだか花を  
愛でたい気分なんだ

きっといい事が  
ありますよ

ハハハ

ああ  
なんて健気な娘

自分の方がすり減って  
いるだろうに……

あの時からずっと  
君を想っていた

リーザ

あの娘を

めちゃくちやに  
犯したい

って

ほらほら  
凄いねこの体勢

まんこもクリトリスも  
丸見えだよ

散々突いたから  
ゆるくなってるのかな？  
開くと奥から溢れてくるよ

ぬちや

ぬちや

ぬちや

ぬちや

はあ

はあ

いれてっ  
早く…っ！

また？

開いちゃ  
だめえっ

そんなに  
突かれるのが  
好きなの？

別にいいよ

ぬちや

ぬちや

ぬちや





君の父親には感謝しているよ

酒場で僕があげた  
「気付け薬」に  
夢中になって

「売ってくれ！」

「頼む！  
薬を売ってくれええ！」

娘が稼いだなけなしの金を  
全て使い込んで

それでも飽き足らず

挙句の果てに  
娘ごと売り飛ばして  
くれるなんて



傑作だね



生娘は  
高く売れるん  
ですよ？

ご存知ですか？

まさかこんな  
上手くいくとは  
思わなかった

別に生娘かどうかなんて  
どうでも良かったし

むしろこんな面白い事  
なってラッキーだった

ああ

僕は幸せだよリーザ

愛する君を  
こんなにもズタズタに出来る



リーザ!

リーザ!



愛する娘が  
壊される気分は

ねえ  
今どんな気分?

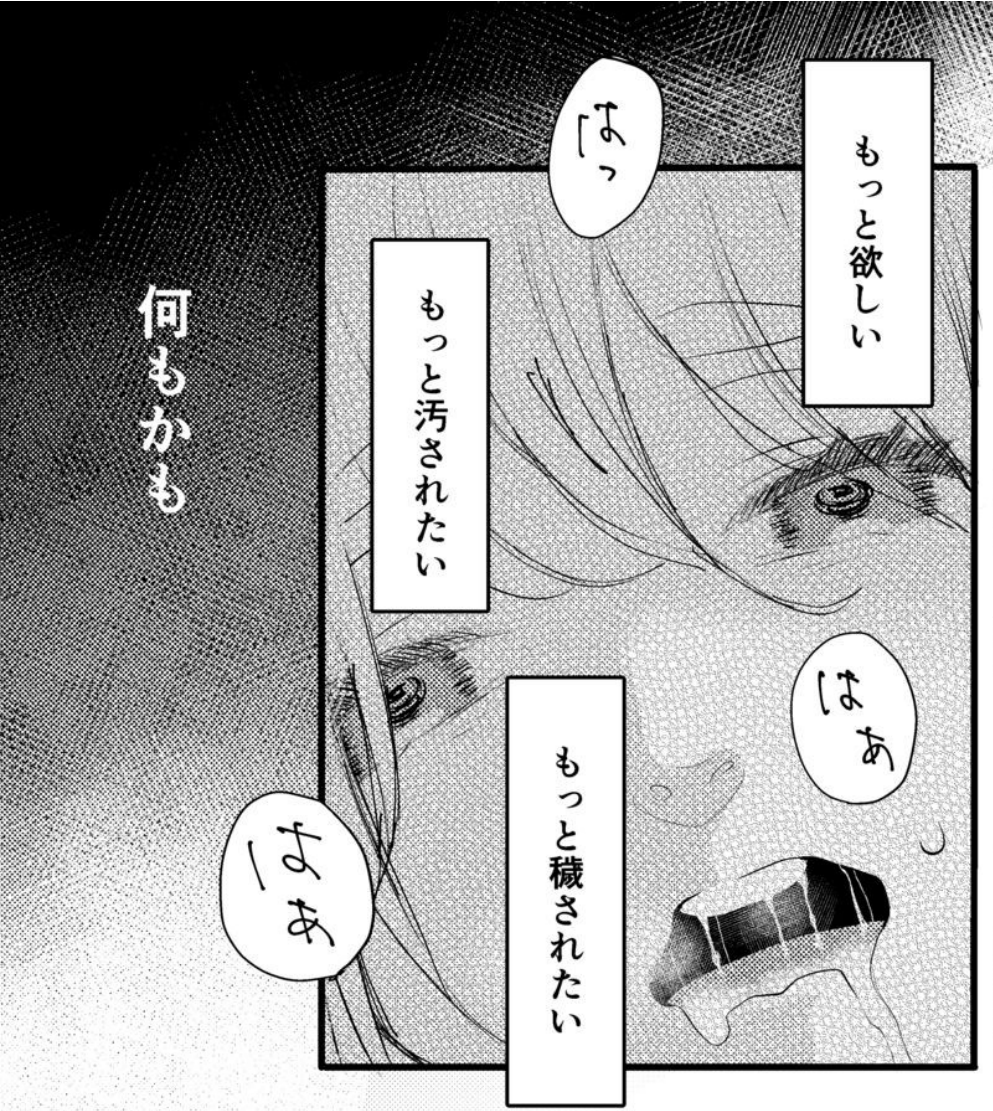


いいんだよ?  
我慢しないで  
触れば?

—って  
君ももう  
それどころじゃ  
ないか

射精が  
止まらない

あゝ



もっと欲しい

はっ

もっと汚されたい

もっと穢されたい

はあ

はあ

何もかも



はあ

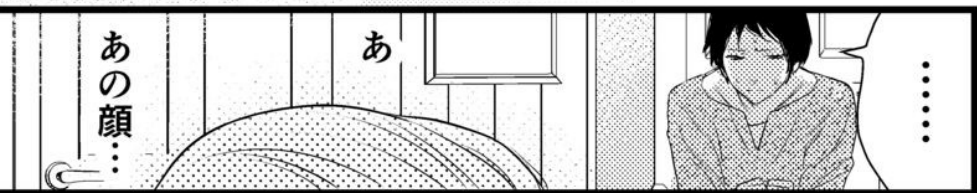
もうダメ

訳がわからない

はあ

はあ

はあ



あの顔...

あ

.....



そうだ

あの顔

思い出した...

ずっと好きだった



はっ

あの顔も...

こっち...

一緒に  
ぐちゃぐちゃに  
なればいい



いいよ  
好きにして

リーザ…っ



良かったね  
僕が人格者で



来て…

リーザ…!!



びゅん

びゅん



びゅん

もう我慢  
出来ないでしょ  
突き上げたくて  
たまらないん  
じゃない?



びゅん

びゅん



リーザ!

リーザ!

リーザっ!  
早くっ

挿れたいっ!  
そこにっ…!!



ぐちやぐちやに  
したい

ああ  
穢したい  
この顔…  
たまらない

っ…!  
か  
か  
か  
はっ  
はっ



ダメ…♡

えっ



少し我慢して  
舐めてあげたら？

散々僕が犯した穴を  
綺麗にしてあげて

あれ？  
リーザは挿れるより  
舐めてほしそうだね

く  
く  
く



ゆっくり

丁寧にね

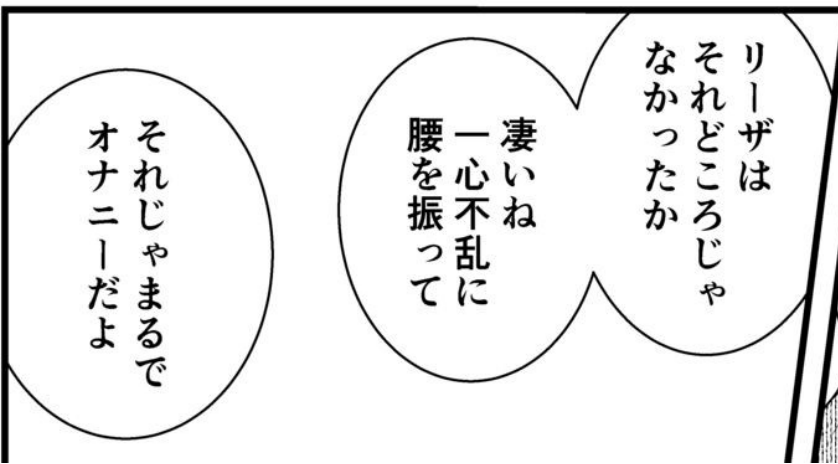
ヒダを開いて  
穴の奥まで

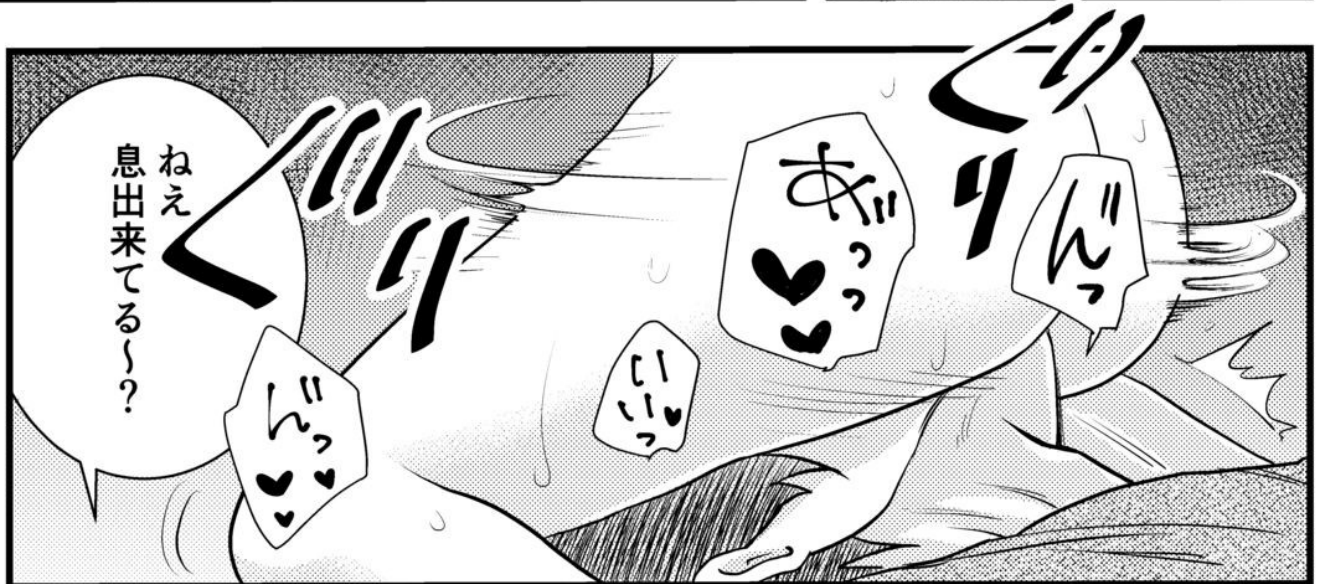
クリトリスは  
どうなってる？  
奥は？

舐めながら  
よく観察して  
あげてよ

出来る？

く  
く  
く









そうだ

クリトリスに玉が  
当たるように激しく  
打ち込んであげる

好きでしょ？  
クリトリス

ぽん

ぽん  
ぽん

びん

あ

ハヤ

あ

あ



ああっ凄い

ほらリーザ  
彼が見てるよ  
よく見せてあげて

ああっ  
もっと見て

リーザと僕の  
一番恥ずかしい結合部

スルッ

スルッ

スルッ

スルッ

あ

私のおまんこっ

あ



は

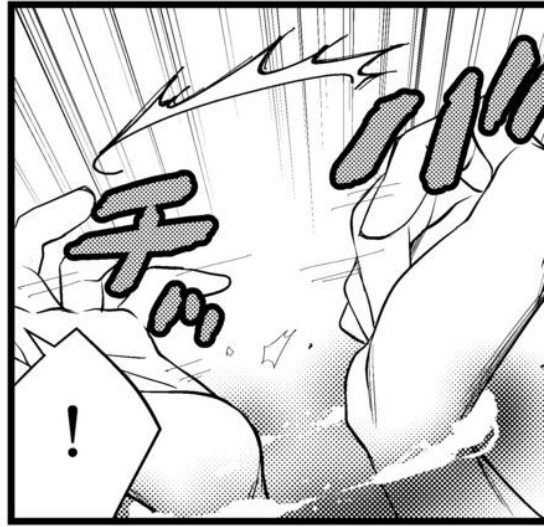
あ

突かれる度に  
当たっておかしくなるっ



リーザ…!

リーザああああ!



グググ

!



リーザああ!

これは凄いね

拘束を破るとは  
驚いたな

効力が弱まって  
きてたかな

あ!!

あ!!

あ!!

あ!!

あ!!



リーザあ  
あああ

リーザ!!

リーザ!!

グググ

グググ

あ!!



あれ?

でも  
おかしいなあ

はん  
はん

リーザにかけた方の  
催眠はとづくに  
解けているはずなのに…

あ!!

グググ

グググ

グググ

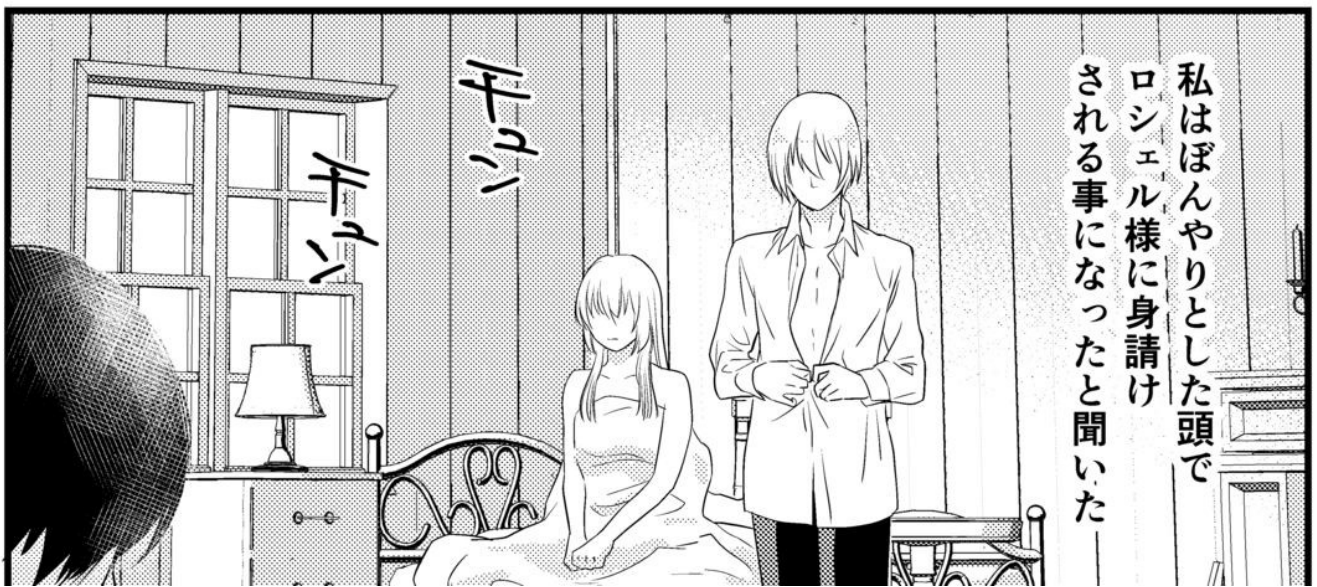


まあいいか

ああっ

射精が  
止まらないっ

そうして  
翌日



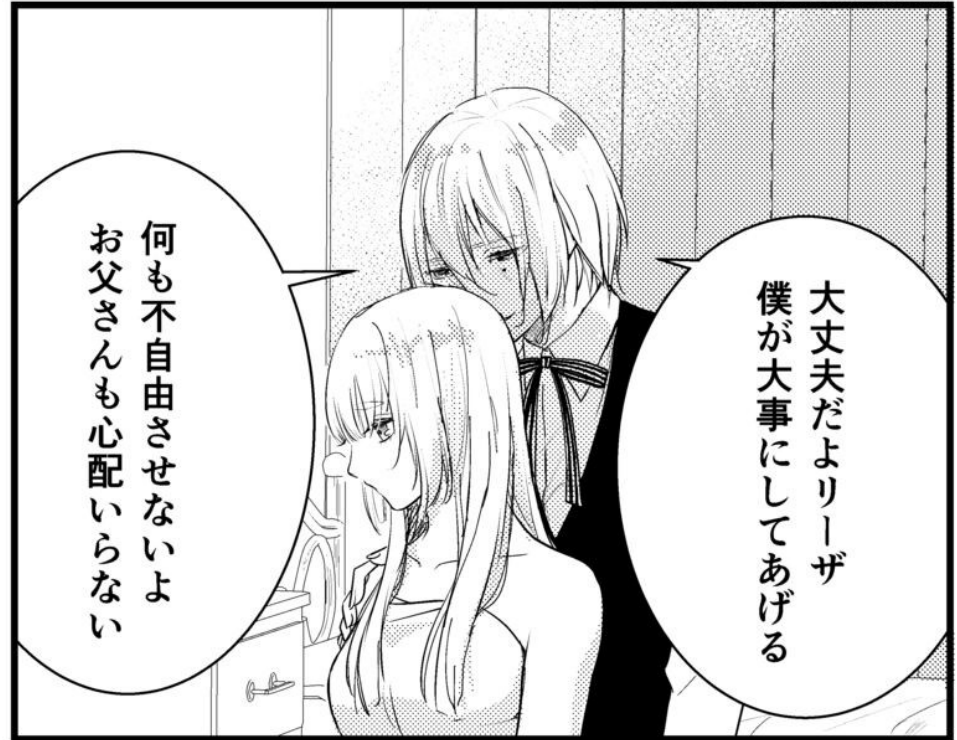
私はぼんやりとした頭で  
ロシエル様に身請け  
される事になったと聞いた

チャ  
ン

チャ  
ン



やっぱり私は  
ぼんやりとした頭で  
「それもいいな」と思った



大丈夫だよリーザ  
僕が大事にしてあげる

何も不自由させないよ  
お父さんも心配いらぬ

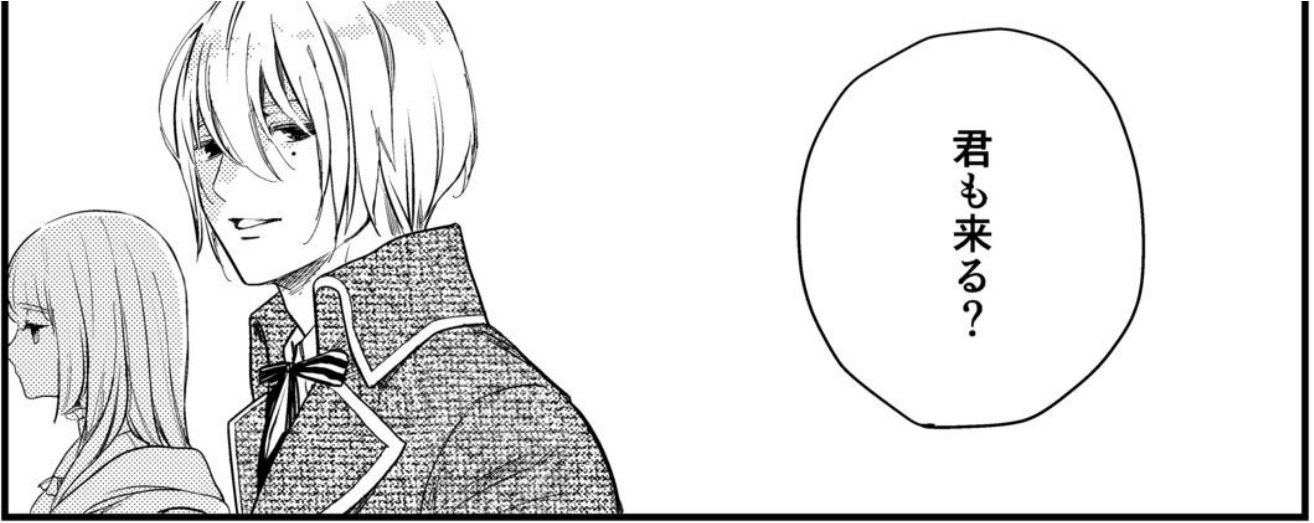


ああ

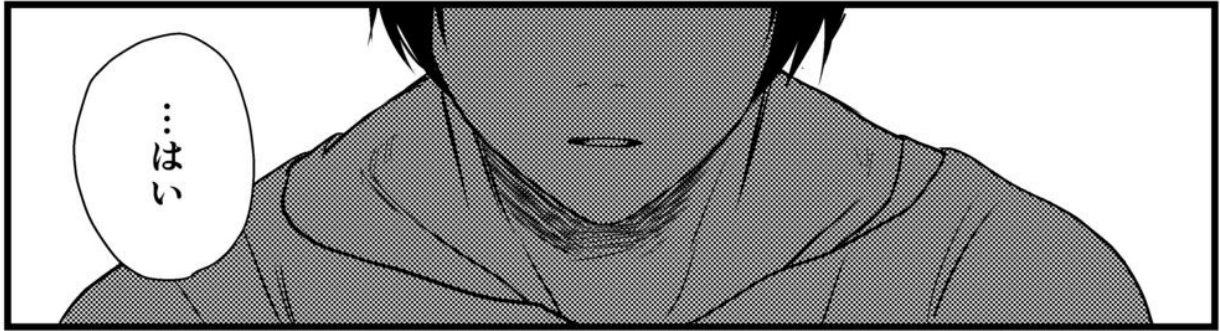


でも寂しいなら  
ペットを飼って  
あげてもいいよ

リーザの専用オナペット



君も来る？



…はい



ご購入頂きありがとうございます。

漫画を描くのはかなり久しぶりで、  
描き上げるまでに思った以上に時間がかかりました。

しかもここまでのエロを描くのも初めてだったので  
至らない点が多々あったのではないかと思います。  
何かと心配ですが少しでも性癖にグサッときてくれたらいいなあ、  
なんて思っている次第です。

どうもありがとうございました！

またらぬ りん